

士別市立病院新経営改革プラン 実績報告書

〔平成 27～29 年度実施分〕

平成 30 年 7 月
士 別 市

1. 市立病院経営改革プラン実施概要

市立病院を取り巻く現状は、慢性的な医師不足、人口減少・少子高齢化により従来にも増して厳しい病院経営を余儀なくされており、前プランである病院経営改革プラン(平成20~26年度)を検証するとともに、27年度を初年度とする30年度までの新病院経営改革プランを策定し、経営改善に取り組み、さらに国の新公立病院改革ガイドラインに基づき、28年度末には計画期間を32年度とまでとするとともに、一般会計からの繰り出し基準の見直しのほか30年度の地方公営企業法の全部適用への移行をスケジュール化したところ。

経営改善計画の29年度に取り組む具体的項目については計画では37項目ですが、一部実施、検討も含め39項目について実施し、実施率は105.4%となりました。

主な具体的取組としては、「組織形態の見直し」にあっては、30年4月1日からの地方公営企業法の全部適用に向けその準備に当たり、29年11月には土別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正したところ。

「経営の安定性、病院機能の明確化」については名寄市立総合病院との連携により、脳血管疾患の患者の救急隊員トリアージによる直接搬送体制、休日の整形外科患者の受入れ、専門医不在時の緊急搬送調整など救急患者対応体制の維持のほか、整形外科における大腿骨頸部骨折患者の地域連携パスの運用を30年1月にスタートさせたところ。また、急性期治療を終えた回復期、慢性期患者を積極的に受け入れることで他の急性期病院からの転院患者の増にもつながりました。

更に30年1月からは病院訪問看護室のステーション化を図り、土別市立病院訪問看護ステーション「あゆみ」を開設し、他の医療機関の医師の指示による訪問看護も可能としたところ。

「医師確保対策」については大学医局に対する要望、北海道や各種団体を通じた派遣依頼、ホームページなどを活用した募集、医師紹介業者を通じての情報収集、知己を通じた声掛けなど様々な形で取り組みました。

しかしながら、30年3月には北海道からの自治医科大学卒の医師の派遣が終了したほか、内科常勤医1名も退職となるなど常勤医が11名から9名に減少しました。こうした状況に対応するため、旭川医科大学からの新たな出張医派遣、知己を通じた当直医の確保などにより現状の診療体制を確保したところ。

「収益確保」に当たっては、一般病床60床(うち地域包括ケア病床9床)、療養病床88床で運用したところで、2階東病棟については4階病棟同様に療養病棟入院基本料1及び在宅復帰機能強化加算を取得するなど他の医療機関からの受け入れ態勢の充実も図り、入院患者数の増、診療単価の増にもつながったところ。

また、未収金対策として民間法律事務所への未収金徴収業務委託を継続し、その回収に努めたところ。

「患者サービスの向上」では、内科外来において予約外担当医を当番で配置し、患者待ち時間の解消の継続に努めました。

「効率的な業務の取り組み・経費の節減」では、委託業務の見直しを進めるとともに、病棟体制の変更など患者数に応じた適正な人員配置、看護師の修学資金の新規貸し付けを2名に制限したほか、当直等の出張医対応を削減するなど経費の節減に努めました。

この結果、29年度は入院患者数増による収益増、外来患者数は減となったものの収益は増となり、収支状況は改善し、当初予定した一般会計からの繰入金に不足を生じることなく、収益的収支においては約1億5千万円の純利益となりました。

2. 改革プランの取組進捗状況（29年度分）

区分	項目数	計画					実績				
		継続実施	実施	一部実施	検討	なし	継続実施	実施	一部実施	検討	未実施
①経営の安定性（病院機能の明確化）	11	7	1		3		8	3			
②医師確保対策	6	4	2				5	1			
③収益確保	10	7		1	1	1	8	1	1		
④患者サービスの向上	4	4					4				
⑤効率的な業務の取り組み・経費の削減	8	4	2		1	1	4	2	1	1	
計	39	26	5	1	5	2	29	7	2	1	

※検討実施は実施に、見直検討は検討としています。

計画では継続実施・実施・一部実施・検討を合わせると37項目ですが、39項目で実施・検討がなされ **105.4%** の実施率となります。

3. 経営改善取組状況

(1) 経営の安定性（病院機能の明確化）

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①市民が安心できる医療体制の提供	ア. 2次救急体制の維持	27 28 29	継続実施	継続実施	27年4月から脳血管疾患の患者の救急隊員トリアージによる名寄市立総合病院への直接搬送体制を確立。 整形外科医減少に伴い休日における整形外科疾患患者についても直接搬送体制を確立。 専門医不在時の救急搬送調整。
	イ. 名寄市立総合病院との連携強化	27 28 29	継続実施	継続実施	地域医療空間の定例協議の開催。（TV会議システム活用。） 直接救急搬送体制の協議確立。 名寄市立総合病院からの年間転院患者数 (2)・①・イに掲載
	ウ. 地域連携バスの導入【新規】	29	検討	実施	30年1月 名寄市立総合病院と大腿骨頸部骨折の地域連携バスの運用開始。
	エ. 他の急性期病院からの慢性期、回復期患者の受け入れ体制の検討	27	検討	実施	病院運営改革会議、経営戦略会議での病棟体制の検討。 名寄市立総合病院との地域連携空間の定例協議の開催。 ○急性期病院からの受け入れ患者数
		28 29	継続実施	継続実施	
	オ. 民間医療機関との連携強化	27 28 29	継続実施	継続実施	市内開業医による外来診療・当直支援 ポラリスネットワークの拡大推進
	カ. 今後の医療需要に応じた病院機能の検討	27 28 29	継続実施	継続実施	病院運営改革会議、経営戦略会議での病棟体制の検討。 地域包括ケア病床の設置、4階病棟を一般病床から療養病床に改修するなど、急性期中心から回復期・慢性期中心へと移行。

地域医療室調べ

②高齢化社会に対応した医療の提供	ア. 療養病床の増床による長期入院患者の受入れ	27 28 29	継続実施	継続実施	<p>国の「地域医療介護総合確保基金」の活用により27年11月に4階病棟の改修し療養病床を増床し許可病床を179床（一般91床、療養88床）に変更。</p> <p>療養病棟の在宅復帰機能強化型を取得 27年11月に2階東病棟を4階に移転（療養運用30床→50床） 28年3月に2階東病棟を再開（療養運用50床→80床） 28年7月に4階療養病床運用拡大（50床→58床）</p> <p>29年4月 許可病床変更148床（一般60床、療養88床）</p> <p>○療養病床述べ患者数</p> <table border="1"> <tr><td>26年度</td><td>3,806人</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>11,897人</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>23,938人</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>25,384人</td></tr> <tr><td>30年度</td><td></td></tr> <tr><td>31年度</td><td></td></tr> <tr><td>32年度</td><td></td></tr> </table>	26年度	3,806人	27年度	11,897人	28年度	23,938人	29年度	25,384人	30年度		31年度		32年度																		
	26年度	3,806人																																		
	27年度	11,897人																																		
	28年度	23,938人																																		
	29年度	25,384人																																		
30年度																																				
31年度																																				
32年度																																				
イ. 訪問診療・看護・リハビリ等在宅医療の強化	27 28 29	実施	実施	<p>○訪問件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>診療</th> <th>看護</th> <th>リハビリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>26年度</td><td>112</td><td>3,663</td><td>70</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>451</td><td>3,748</td><td>84</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>400</td><td>3,612</td><td>181</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>265</td><td>3,199</td><td>208</td></tr> <tr><td>30年度</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>31年度</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>32年度</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>患者数調べ・管理会議資料</p>		診療	看護	リハビリ	26年度	112	3,663	70	27年度	451	3,748	84	28年度	400	3,612	181	29年度	265	3,199	208	30年度				31年度				32年度			
	診療	看護	リハビリ																																	
26年度	112	3,663	70																																	
27年度	451	3,748	84																																	
28年度	400	3,612	181																																	
29年度	265	3,199	208																																	
30年度																																				
31年度																																				
32年度																																				
ウ. 地域包括ケア病床の効率的・効果的運用	27	検討	実施	地域包括ケア病床を27年5月に4階病棟（3室8床）に開設。病棟改修に伴い10月に5階病棟（3室9床）に変更。																																
	28	実施	継続実施																																	
	29	見直検討	継続実施																																	
エ. 地域医療室と介護・福祉施設等の連携による地域包括ケアシステムの構築	27	検討	実施	地域包括ケア会議への参画。医療介護連携会議ワーキンググループ内での検討実施。																																
	28	継続実施	継続実施	市立病院とケアマネージャーの連携についての協議会開催。情報共有シートの作成。																																
オ. 訪問看護室のステーション化【新規】	28	検討	検討																																	
	29	検討	実施	30年1月に士別市立病院訪問看護ステーション「あゆみ」を開設。																																

(2) 医師確保対策

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①医師確保の推進	ア. 道内医育大学との連携	27 28 29	継続実施	継続実施	旭川医科大学からの外来出張医の派遣継続。 北海道大学からの週末当直医の派遣継続。
	イ. 大規模民間病院との連携	27 28	検討	実施	埼玉医科大学国際医療センターから消化器内視鏡医の派遣継続。（28年度で終了）
	ウ. 知己・地縁を通じた招致活動の推進	27 28 29	継続実施	継続実施	知己を通じ医師勧誘の実施。 28年8月 消化器内科医師1名確保（常勤） 平成28年12月 消化器内科医師1名確保（非常勤）
	エ. インターネット及び民間紹介業者の積極的活用	27 28 29	実施	実施	医師転職サイトへの掲載依頼（27年度3件追加） 継続掲載

	オ. インセンティブ手当等の検討	27	検討	実施	緊急呼出手当の支給対象者の拡大。
		28 29	継続実施	継続実施	緊急呼出手当及び救急診療業務手当の増額配定。
②医師負担軽減	ア. 医師事務作業補助の強化、オーダーリングシステムの機能向上による診療業務負担軽減	27	検討実施	継続実施	オーダーリング更新時に診断書作成システムを導入。
		28 29			
	イ. コンビニ受診抑制などの市民周知	27	継続実施	継続実施	士別市広報に掲載周知。ホームページ掲載。
		28 29			

(3) 収益確保

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等																	
①患者確保	ア. 療養病床の増床による長期療養患者の受入れ(再掲)	27	継続実施	継続実施	(1)・②・ア に掲載																	
		28																				
		29																				
	イ. 他の急性期病院からの慢性期、回復期患者の受入れ体制の検討(再掲)	27	検討	実施	(1)・①・ウ に掲載																	
		28 29	継続実施	継続実施																		
	ウ. 入院透析の受入れ		27	継続実施	継続実施	○入院患者の透析件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>888</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>1,117</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>1,520</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		件数	26年度	685	27年度	888	28年度	1,117	29年度	1,520	30年度		31年度		32年度	
				件数																		
			26年度	685																		
			27年度	888																		
			28年度	1,117																		
29年度			1,520																			
30年度																						
31年度																						
32年度																						
28																						
29																						
エ. 市民公開講座や病院見学会による病院機能の市民周知		27	継続実施	継続実施	市民公開講座(北海道大学第1外科武富教授)開催。市民病院見学会の開催、土曜こども文化村院内見学、まなびとくらしのフェスティバル参加。出前講座(保健推進会議へ山田院長、第三自治会敬老会に藤野リハビリ室長、九十九大学講義に長島副院長、ロータリークラブに山田院長、消費者協会に澤口医師と福川看護師、シルバー人材センターへ長島副院長、食生活改善協議会へ山田院長)																	
		28	継続実施	継続実施		市民公開講座(北海道大学循環器内科筒井教授)の開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。出前講座(自治連わがまちしべつの未来を語る会へ長島院長、JA北ひびき営農部へ山田医師、九十九大学講義に野々川薬局長、佐藤科長)																
		29	継続実施	継続実施		市民公開講座(全日本病院会北海道支部長 徳田禎久氏)開催。まなびとくらしのフェスティバル参加。出前講座(ナナカマドシニアクラブに宮本作業療法士)																
②医業収益の確保	ア. 訪問診療・看護・リハビリなど在宅医療の充実(再掲)	27	継続実施	継続実施	1・(2)・イ に掲載																	
		28																				
		29																				
	イ. 診療報酬算定における新たな加算などの取得		27	継続実施	継続実施	2階東病棟(その後4階病棟)で療養病棟入院基本料1及び在宅復帰機能強化加算を取得。急性期看護補助体制加算2.5対1、地或包括ケア入院医療管理料1の取得。 診療報酬改定に向け事前学習会を開催。																
			28	継続実施	継続実施		医師事務補助体制加算1を届出(一般25:1、療養75:1)															
		29	継続実施	継続実施	2階東病棟についても療養病棟入院基本料1算定開始。病棟薬剤業務加算の算定再開。 診療報酬改定に向け事前学習会を開催。																	

	ウ. 人間ドック枠の拡大、レディースドックの検討	27 28 29	検討 一部実施	一部実施	27年度 金曜日に午後ドック(5人枠)を新設。 (医師体制確保できず28年度で中止) 29年度 他部署医師のバックアップによる健診日の確保																												
	エ. CT・MRIなど民間医療機関からの読影受託の検討	27	検討	実施	○他医療機関から依頼によるCT・MRI検査の実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT</th> <th>MRI</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度</td> <td>16件</td> <td>14件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>1件</td> <td>9件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>8件</td> <td>15件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		CT	MRI	その他	27年度	16件	14件	28件	28年度	1件	9件	20件	29年度	8件	15件	18件	30年度				31年度				32年度			
			CT	MRI		その他																											
27年度	16件	14件	28件																														
28年度	1件	9件	20件																														
29年度	8件	15件	18件																														
30年度																																	
31年度																																	
32年度																																	
28 29		継続実施																															
	オ. 訪問看護室のステーション化【新規】	28	検討	検討	(1)・(2)・オに掲載																												
		29	検討	実施																													
③未収金対策	ア. 民間会社への徴収委託の検討	27	検討	検討	翌年度導入に向け検討。																												
		28 29	継続実施	継続実施	○未収金徴収業務の委託(成功報酬型) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>依頼金額総額</th> <th>収納金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>1,979,325円</td> <td>255,596円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>553,574円</td> <td>195,835円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		依頼金額総額	収納金額	28年度	1,979,325円	255,596円	29年度	553,574円	195,835円	30年度			31年度			32年度												
		依頼金額総額	収納金額																														
28年度	1,979,325円	255,596円																															
29年度	553,574円	195,835円																															
30年度																																	
31年度																																	
32年度																																	

(4) 患者サービスの向上

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①市民サービスの向上	ア. 医師・看護師等医療スタッフ接遇研修の実施	27	継続実施	継続実施	患者サービス委員会による接遇研修の開催。
		28			
		29			
	イ. 病院コンシェルジュの配置	27	継続実施	継続実施	看護師(臨時職員)を1階総合案内に配置。
		28 29			
	ウ. 外来待合室環境改善	27	検討	未実施	1階2階外来多目的トイレの改善、1階待合室のTV設置。
28			実施		
エ. 入院、外来患者アンケートの実施	27	継続実施	継続実施	入院患者アンケートの継続実施。	
	28 29				
オ. 内科外来診療体制見直しによる待ち時間の解消	27	継続実施	継続実施	新患者の多い月曜日午前に新患専任の医師を追加配置。 内科外来に予約外(新患)担当医を配置し、待ち時間の短縮を図った。	
	28 29	継続実施	継続実施		

(5) 効率的な業務の取り組み・経費節減

項目	具体的な取組	年度	計画	実績	取組内容等
①経営形態の検討	ア. 地方公営企業法の全部適用等、経営形態の検討	27	検討	未実施	病院経営改革会議で地方公営企業法の全部適用を検討し、新経営改革プランの見直しにより平成30年4月移行をスケジュール化した。 30年12月 公営企業法の全部適用に向け、土別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正。
		28 29	検討	検討	
②効率的業務の取り組み	イ. 各部門におけるバランススコアカード等の導入	27	検討	一部実施	看護部で年間活動計画と評価を実施。
		28 29	一部実施		
	ウ. 医事業務、給食業務などの委託業務の見直し	27	継続実施	継続実施	27年度 滅菌業務一部見直しによる業務委託実施 28年度 CT、MRI、シネアンギオ保守の業務内容変更

					29年度 給食業者決定にプロポーザル方式導入実施																																
	工. 患者数に応じた適正な職員配置	27 28 29	継続実施	継続実施	<p>職員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>看護職</th> <th>コメディカル</th> <th>事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年4月</td> <td>123人</td> <td>39人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>28年4月</td> <td>112人</td> <td>39人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>29年4月</td> <td>103人</td> <td>38人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>30年4月</td> <td>96人</td> <td>37人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>31年4月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>32年4月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>33年4月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		看護職	コメディカル	事務	27年4月	123人	39人	13人	28年4月	112人	39人	13人	29年4月	103人	38人	13人	30年4月	96人	37人	13人	31年4月				32年4月				33年4月			
	看護職	コメディカル	事務																																		
27年4月	123人	39人	13人																																		
28年4月	112人	39人	13人																																		
29年4月	103人	38人	13人																																		
30年4月	96人	37人	13人																																		
31年4月																																					
32年4月																																					
33年4月																																					
	才. 時間外勤務の削減	27 28 29	継続実施	継続実施	<p>業務改善委員会等による業務効率化の推進により時間外勤務の削減に努めた。</p> <p>1人当たり時間外勤務(年間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>看護職</th> <th>コメディカル</th> <th>事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>121時間</td> <td>205時間</td> <td>162時間</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>111時間</td> <td>188時間</td> <td>174時間</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>118時間</td> <td>174時間</td> <td>193時間</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>105時間</td> <td>189時間</td> <td>250時間</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		看護職	コメディカル	事務	26年度	121時間	205時間	162時間	27年度	111時間	188時間	174時間	28年度	118時間	174時間	193時間	29年度	105時間	189時間	250時間	30年度				31年度				32年度			
	看護職	コメディカル	事務																																		
26年度	121時間	205時間	162時間																																		
27年度	111時間	188時間	174時間																																		
28年度	118時間	174時間	193時間																																		
29年度	105時間	189時間	250時間																																		
30年度																																					
31年度																																					
32年度																																					
③経費の削減	ア. 院内照明のLED化の推進等	27	検討	実施	照明修繕時のLED化の実施(1灯) 4階病棟改修(食堂等16灯)																																
		28	検討	実施	照明修繕時のLED化の実施(5灯) 誘導灯のLED化の実施(106カ所)																																
		29	一部実施	実施	照明修繕時のLED化の実施(9灯) 水道節水弁の導入により使用水量の削減を図った。																																
	イ. 院内各種委員会の見直し	27	検討	実施	委員会総数 27 データ提出加算に伴いコーディング委員会を新設。																																
		28	一部実施	未実施																																	
		29		実施	広報委員会と患者サービス委員会を統合し広報委員会とした。																																
	ウ. 看護師修学資金貸付の抑制	27 28 29	継続実施	継続実施	修学資金貸付																																
						新規貸付	貸付総数	貸付金額																													
					26年度	2人	12人	9,870千円																													
27年度					2人	6人	4,410千円																														
28年度					2人	7人	5,320千円																														
29年度					1人	5人	4,130千円																														
30年度																																					
31年度																																					
32年度																																					

4. 決算の状況

【収益的収支】 税込

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1 医業収益	2,538	2,500	2,654			
	(1)診療収入	2,262	2,227	2,344			
	入院収益	1,256	1,259	1,356			
	外来収益	1,006	968	988			
	(2)その他	276	273	310			
	その他医業収益	134	131	134			
	2 医業外収益	883	848	849			
	(1)他会計負担金	321	319	457			
	(2)他会計補助金	400	359	147			
	(3)道補助金	21	20	19			
	(4)長期前受金戻入	122	134	203			
	(5)その他	19	16	23			
	その他医業外収益	18	15	22			
	患者外給食収益	1	1	1			
経常収益 A	3,421	3,348	3,503				
支 出	1 医業費用	3,365	3,309	3,330			
	(1)給与費	1,733	1,669	1,691			
	(2)材料費	517	519	564			
	(3)経費	900	886	835			
	(4)減価償却費	183	204	204			
	(5)その他	32	31	36			
	2 医業外費用	27	24	21			
経常費用 B	3,392	3,333	3,351				
経常損益 (A-B) C	29	15	152				
特 別	1 特別利益 D	1	0	2			
	2 特別損失 E	2	4	2			
特別損益 (D-E) F	△1	△4	0				
純損益 (C+F)	28	11	152				
累積欠損金	1,989	1,977	1,825				
不良債務	△3	△4	△177				

【資本的収支】 税込

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
資 本 的 収 入 計	1 企業債	268	123	150			
	2 他会計出資金	2	3	0			
	3 他会計負担金	253	248	236			
	うち建設・医療機器分	253	248	176			
	うち建物以外基準外	0	0	60			
	4 道補助金	19	0	0			
	5 その他	2	3	26			
資本的収入計 A	544	377	412				
支 出	1 建設改良費	322	146	165			
	2 企業債償還	323	332	249			
	3 その他	4	5	4			
資本的支出計 B	649	483	418				
資本的収支 (A-B) C	△105	△106	△6				
補てん財源 E	105	106	6				
補てん財源不足額 (C+E)	0	0	0				

【一般会計繰入金】

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
一般会計からの繰入金合計	1,118	1,072	1,016			
うち基準	786	806	926			
うち特別	160	80	90			
うち追加分	172	186	0			

5. 数値目標の達成状況

【収支改善にかかわるもの】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	プラン目標値 (H29)
経常収支比率	100.9	100.5	104.5				100.2
経常収支比率(特別繰入を除く)	91.1	92.5	101.9				97.6
医業収支比率	75.4	75.6	79.7				75.6
修正医業収支比率	78.6	79.9	82.4				78.4

【経費節減】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	プラン目標値 (H29)
職員給与対医業収益比率	68.3	66.8	63.7				67.5
材料費対医業収益比率	20.4	20.8	21.3				20.8
経費対医業収益比率	35.5	35.4	31.5				34.7
うち委託料対医業収益比率	13.7	14.4	13.7				15.0

【収入確保】

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	プラン目標値 (H29)
一般病棟入院患者/日	71.6	44.8	46.0				45.0
療養病棟入院患者/日	32.5	65.6	69.5				65.0
入院患者合計/日	104.1	110.3	115.6				110.0
外来患者/日	524.5	497.5	476.0				480.0

※ 経常収支比率（100%を下回ると経常収支において赤字となる）

$$\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益}) \times 100}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \quad (\%)$$

※ 医業収支比率（医業活動そのものでの収益性を示す）

$$\frac{\text{医業収益} \times 100}{\text{医業費用}} \quad (\%)$$

※ 修正医業収支比率

（本来の医業の提供に係わる収益、費用のみで表される指数。100%を超えれば医業活動のみで利益を生んでいる状態）

$$\frac{(\text{医業収益} - \text{一般会計繰入}) \times 100}{(\text{医業費用} - \text{減価償却費} - \text{退職手当})} \quad (\%)$$